

東京農大の活動報告

知事表敬 本県視察の学生ら

コメの全量全袋検査など

の視察のため来県した東京

農大国際食農科学科2年の

藤本夕夏さんと鈴木奏絵さ

んは8月30日、県庁に内堀

雅雄知事を訪ね、県産米に

ついて学ぶ「米概論」など本
県の風評払拭を後押しす
る同大の活動を報告した。

同学科は、世界文化遺産
に登録された和食や日本の
食文化を支えている農業の
技術などを学び、世界に発
信する人材の育成などを目
的に昨年度創設された。 視
察は同31日まで2日間。

内堀知事は、25カ国・地

域が原発事故に伴う県産食
品の輸入規制を続いている
現状を紹介し、「日本の食が
安全で品質が素晴らしいこ
とを世界の人々に知ってほし
い」と話した。同学科の望
月洋孝助教、県米穀肥料協
同組合の梅本典夫理事長、
同大出身で会津坂下町にあ
る猪俣徳一商店社長の猪俣
優樹さんが同席した。



内堀知事に東京農大の取り組みを報告した藤本さん（右から3人目）と鈴木さん（同2人目）